

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-57869

(43)公開日 平成 6年(1994) 3月 1日

(51)Int.Cl.⁵
E 0 4 B 7/02

識別記号 庁内整理番号
5 1 1 B 6951-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-212732

(22)出願日 平成 4年(1992) 8月10日

(71)出願人 000004673

ナショナル住宅産業株式会社
大阪府豊中市新千里西町 1丁目 1番 4号

(72)発明者 小川 哲郎

大阪府豊中市新千里西町 1丁目 1番12号
ナショナル住宅産業株式会社内

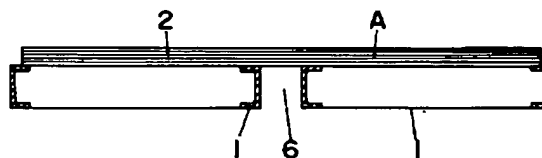
(74)代理人 弁理士 石田 長七 (外 2名)

(54)【発明の名称】 屋根パネル

(57)【要約】

【目的】 屋根トラスを設ける間隔が狭くても施工効率を向上する。

【構成】 標準モジュールの幅の枠材 1 を複数個横に並べる。複数の枠材 1 に互るように 1 枚の面板 2 を貼る。隣り合う枠材 1 の間に屋根トラスの上端が嵌まり込む幅のトラス嵌め込み部 6 を設ける。これにより大きなサイズの屋根パネル A にて施工をすることができる。



A…屋根パネル
1…枠材
2…面板
6…トラス嵌め込み部

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 枅材の上面に面板を貼った屋根パネルにおいて、標準モジュールの幅の枅材を複数個横に並べ、複数の枅材に互るように1枚の面板を貼り、隣り合う枅材の間に屋根トラスの上端が嵌まり込む幅のトラス嵌め込み部を設けて成る屋根パネル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、積雪地等で屋根トラスが標準モジュールの幅で細かく設けられた場合に用いる 10 屋根パネルの構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に積雪地では、屋根トラス3が標準モジュールの幅である1Pの間隔で屋根に設けられるため、屋根パネルA'も標準モジュールの幅である1Pの幅で形成されている。つまり、1Pの幅の枅材1の上に1Pの幅の面板2'を取り付けて形成されている。この屋根パネルA'は隣り合う屋根トラス3間に嵌め込まれ、屋根トラス3と枅材1を図4に示すようにボルト・ナットのような固着具4にて締結し、隣り合う屋根パ 20 ネルA'の面板2'間に屋根目板5を取り付けてある。このように各屋根トラス3間に1Pの幅の屋根パネルA'を嵌め込んで取り付けた場合、屋根の棟の長手方向の幅が12Pで棟と直交する方向の幅が8Pのものを施工した場合、図5のように施工され、16枚の屋根パネルA'が取り付けられると共に屋根目板5が18箇所に取り付けられる。Bは妻側に取り付けられる妻側屋根パネルである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、かかる従来 30 例にあっては、1Pのピッチで屋根パネルA'を多数枚取り付けなければならない、施工するときクレーンの移動が多く施工の効率が悪いという問題があり、また屋根目板5の取り付け枚数も多くて施工の効率が悪いという問題がある。

【0004】本発明は上記問題点を鑑みてなされたものであって、本発明の目的とするところは施工効率を向上できる屋根パネルを提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため 40 本発明屋根パネルAは、枅材1の上面に面板2を貼った屋根パネルにおいて、標準モジュールの幅の枅材1を複数個横に並べ、複数の枅材1に互るように1枚の面板2を貼り、隣り合う枅材1の間に屋根トラス3の上端が嵌まり込む幅のトラス嵌め込み部6を設けた。

【0006】

【作用】上記構成によれば、標準モジュールの幅の1Pの間隔で屋根トラス3が設けられても、トラス嵌め込み部6に屋根トラス3の上端を嵌め込むことにより取り付けることができる。これにより、標準モジュールの幅の 50

2

複数倍の幅の屋根パネルAを用いて効率よく施工できる。

【0007】

【実施例】屋根パネルAは図1に示すように枅材1の上に面板2を貼って形成される。枅材1は標準モジュールの幅である1Pの幅で形成されており、この枅材1を複数個横に並べてあり、隣り合う枅材1の間には屋根トラス3の幅と同じ幅の間隔を隔ててある。この枅材1の上には複数個の枅材1に互るように面板2を取り付けてある。この面板2の幅は標準モジュールの幅の複数倍の幅と屋根トラス3の幅の和の幅である。この屋根パネルAの隣り合う枅材1間にはトラス嵌め込み部6を設けてある。本実施例の場合、2個の枅材1の上に面板2を貼っており、標準モジュールの幅の2倍の幅の仕様の屋根パネルAを形成してあり、隣り合う枅材1間にトラス嵌め込み部6を設けてある。

【0008】このように構成せる屋根パネルAは1つおきの屋根トラス3間に配置され、屋根パネルAの幅方向の中央では図2に示すようにトラス嵌め込み部6に屋根トラス3の上端が嵌め込まれ、枅材1と屋根トラス3とがボルト・ナットのような固着具4にて締結される。隣り合う屋根パネルA間では従来と同様に屋根トラス3と枅材1が固着具4にて締結され、上に屋根目板5が取り付けられる。このように標準モジュールの2倍の幅の屋根パネルAを用いた場合、屋根の棟の長手方向の幅が12Pで棟と直交する方向の幅が8Pのものを施工した場合、図3のように施工される。このとき、屋根パネルAが8枚で済むと共に屋根目板5も10枚で済む。

【0009】

【発明の効果】本発明屋根パネルは叙述のように標準モジュールの幅の枅材を複数個横に並べ、複数の枅材に互るように1枚の面板を貼り、隣り合う枅材の間に屋根トラスの上端が嵌まり込む幅のトラス嵌め込み部を設けているので、標準モジュールの幅の1Pの間隔で屋根トラスが設けられても、トラス嵌め込み部に屋根トラスの上端を嵌め込むことにより取り付けることができるものであって、標準モジュールの幅の複数倍の幅の屋根パネルを用いて少ない枚数の屋根パネルで効率よく施工できるものであり、しかも屋根目板の枚数も少なくできて施工の効率を一層向上できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明屋根パネルの一実施例の断面図である。

【図2】同上の屋根パネルの取り付け状態の断面図である。

【図3】同上の屋根を施工した状態の伏図である。

【図4】従来例の断面図である。

【図5】従来例の屋根を施工した状態の伏図である。

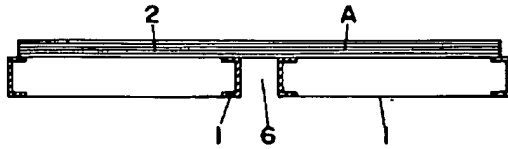
【符号の説明】

A 屋根パネル
1 枅材

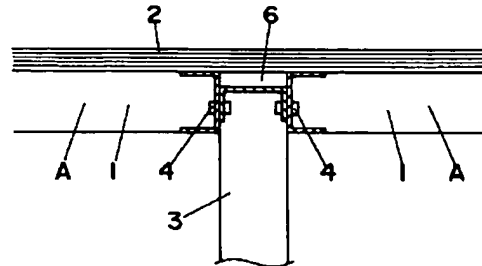
- 2 面板
3 屋根トラス

- 6 トラス嵌め込み部

【図1】

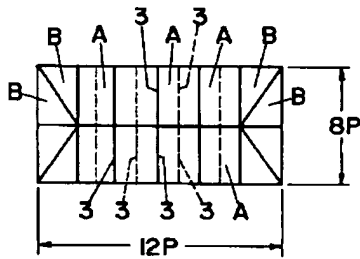


【図2】

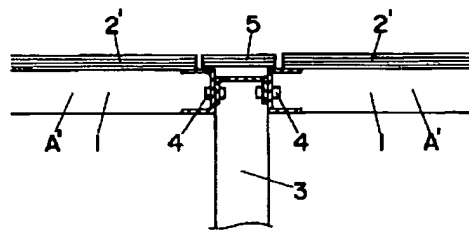


A...屋根パネル
I...材料
2...面板
6...トラス嵌め込み部

【図3】



【図4】



【図5】

